

う、お願い申し上げる次第である。

〒650 神戸市中央区港島中町 6-1
 ホテルゴーフルリッツ
 サロン・デル・リプロ
 日本ワイルド協会関西支部局
 phone(078)303-5555

実践女子大学図書館所蔵

ワイルド・コレクションについて

澤井 勇
 (実践女子大学教授)

昭和56年秋、実践女子大学英文学科は故本間久雄博士のご遺族のご好意と、現日本ワイルド協会顧問で当時実践女子大学文学部長をなさっていた小倉多加志先生のご尽力により、博士が生前に収集されていた膨大な研究資料のなかから英文学関係の蔵書および資料を譲り受けた。これらはその後、昭和61年に実践女子大学が全キャンパスを渋谷から日野に移転したのを機に英文学科から実践女子大学図書館に移されて「本間久雄文庫」となった。その内訳は蔵書が1,352冊で、そのうちワイルド関係洋書が85件97冊、ワイルド関係和書が7件7冊、それにMason等が編纂したWilde関係の新聞・雑誌切抜き帳17集、Wildeの自筆書簡1通、そしてWildeの毛髪である。これらの具体的な内容については、昭和51年5月22日に日本ワイルド協会が本間博士提供による「ワイルド研究資料展示会」を行った際に、博士ご自身が『ワイルド研究資料目録』を作成しておられる。

しかし実践女子大学図書館はこうした「本間久雄文庫」をもとにさらにワイルド関係資料の収集にあたっているが、現在では新聞・雑誌切抜き帳17集と毛髪のほかにワイルドの著作398点、独・仏語を含む研究書145点、自筆書簡2通、ワイルド関連資料9点を収録していて、特種コレクションとして作品の初版や異本はほとんど網羅し、*Oscar Wilde* by Ernest Newman (1895) や著者不明の *The Life of Oscar Wilde as Prosecutor and Prisoner* (1895) といった稀観文献なども数多く収めている。昨年12月4日に実践女子大学で開催された日本ワイルド協会の講演・研究発表会と並行して実践女子大学図書館が行った「オスカー・ワイルド・コレクション展」は、これらのうちから著作64点、その

他関連文献16点、新聞・雑誌切抜き帳6集、それに自筆書簡2通と毛髪を展示したものであった。その際、同図書館は『実践女子大学図書館所蔵「オスカー・ワイルド文献目録』』と『オスカー・ワイルド・コレクション展目録』を作成し、当日参会した方々に配布した。

ワイルド書誌 (1987年12月～1990年5月)

- 渡部昇一・高階秀爾 『覆刻ザ・サヴォイ別冊 解説 ザ・サヴォイ』 大修館書店
 1987年12月
- 刈田元司・植松靖夫著訳、ジョナサン・グリーン編 『最後のことば——聖者から死刑囚まで』 現代思想社、現代教養文庫1282 1989年1月30日 282—283頁
- スタンリー・ワイントラウプ著、高儀 進訳『ピアズリー伝』 中央公論社 1989年6月
- 松浦 暢 『宿命の女』 平凡社 1989年6月17日
- 西村 孝次 「オスカー・ワイルド——若いヘーゲル派からの批評家の誕生」 『英語青年』 (研究社) 1989年8月号
- 山川 鴻三 『サロメ——永遠の妖女』 新潮社 1989年7月
- 西垣 千明 「ワイルドの『獄中記』から——「教養」のゆくえ——〔一〕～〔七〕」
 『玉川通信』 (玉川大学出版部) 1989年8月号—1990年2月号
- 千葉剛監修・深澤 清・新井 透・河野芳英・鈴木博雄・梁井一恵共註 『幸福な王子とその他の物語』 旺史社 1989年9月1日
- 岡崎 一 「第二の〈世紀末〉に際して——オスカー・ワイルドを中心に」 『文化のモザイク 第二人類の異化と希望』 緑書房 1989年9月15日 249—257頁
- 井村君江訳・解説 『W・H氏の肖像』 工作舎 1989年9月20日
- 山田 勝 『ダンディズム 貴族趣味と近代文明批判』 日本放送出版協会 1989年9月20日
- 林 光 「“妖しさ”みせる歌唱力 東響定期演奏会「サロメ」」 朝日新聞夕刊
 1989年10月4日
- 無署名 (紹介) 「井村君江訳・解説『W・H氏の肖像』」 毎日新聞 1989年10月16日
- 川崎淳之助・荒井良雄訳編 『サロメと名言集』 新樹社 1989年10月20日
- 堀 紀代子 「ワイルドの童話におけるカトリシズムについて」 *Sonoda Newsletter*
 (園田学園女子大学英文学会) No. 14 1989年11月
- 堀江 珠喜 「近ごろの『サロメ』あれこれ——ワイルドの戯曲を考える——」 神戸新聞
 1989年11月10日
- 岩波書店編集部編、オスカー・ワイルド 「愛を知る人」 『愛のことば』 岩波書店